

# 先輩職員の声

平成25年度採用 氏名：徳山明寛  
所属：保護第一課 職種：一般事務職

## ◇奈良市を選んだ理由は何ですか。

私は大学生のときに福祉関係の勉強をしており、また地元関西で働き続けたいという希望もあり、公務員の仕事に興味を持っていました。奈良市は観光だけではなく、「大阪のベッドタウン」や「福祉に力を入れている」という一面もあり、様々な業務に携われる点に魅力を感じました。また、奈良市は複数回の面接やグループディスカッションを採用試験に用いており、「人間性」を重視していると感じたことも理由のひとつです。



## ◇現在、どんな仕事をしていますか。

保護第一課は生活保護に関する課です。私はその中でもケースワーカーという仕事をしており、高齢や病気、障がいといった様々な理由で生活に困窮している市民の方の相談を受け、生活保護法に基づき、必要な援助や指導を行っています。家庭訪問による生活状況の把握、就労支援、病状調査など、業務内容は多岐にわたります。また、障がい福祉課、介護福祉課、子育て相談課といった他部署との連携が必要な仕事でもあります。

## ◇どんな時にやりがいを感じますか。

生活保護法に則り、市民の方に必要な支援ができたときです。就労支援を行い、仕事が見つかり、生活保護から自立できた方に「本当にありがとうございます」と感謝された際には、この仕事をやっていてよかったなぁと思いました。もちろん、生活保護法を逸脱してはいけないので、市民の方の要望にすべて応えられる訳ではありません。その際にも市民の方に根気強く説明し、理解が得られたときにもやりがいを感じています。

## ◇受験者の皆さんへのメッセージ

公務員の仕事といえば「決められた仕事を淡々とこなす」というイメージが根強く残っていますが、そんなことはありません。奈良市は近年、市民のニーズが多様化する中で変革が求められており、市の発展のために、自ら考え、柔軟に行動することが重要になってきています。仕事は大変ですが、その分やりがいも大きいです。ぜひ一緒にこれからの奈良市を創っていきましょう！